

がんばる農業者 あの人この人



有限会社 すずき農園(東田町)
鈴木 克巳さん

今回ご紹介するのは、県の指導農業者として活躍し、東田町で美味しいナメコを栽培している(有)すずき農園の代表者、鈴木克巳(57)さんです。すずき農園は、平成11年に法人化され、現在は奥さんの友子さんと8人のパートさんで生産に取り組んでいます。

元々この地区は、水稲と平茸の生産が盛んな地区でしたが、原木の不足などの問題から、次第に他の作物を栽培する人が増えていったそうです。鈴木さんも、平成8年頃に水稲を止めて、ナメコの専業経営に切り替えました。

現在、自宅周辺には6棟の大きなナメコ栽培施設があり、午前8時から12時まで収穫をします。その後、収穫したナメコを袋に詰める作業に移りますが、「うちの作業処理は日本一ですよ。」とのこと。手際とチームワークの良さは、すずき農園の自慢の一つだそうです。一日7000キロ(7000袋)の出荷先は、地元はもちろん東京方面も多いのですが、一部で産直もしています。

鈴木さんが栽培を長く続けてこられた

理由の一つとして、身近に有名なナメコ生産者がいたことも挙げられます。郡山市には大きなナメコの生産を日本で最初に確立した人、そして本宮市には、年間を通じてナメコの生産が出来る種菌の元を作った人がおり、鈴木さんはその二人を目標に生産に励んでいたそうです。「二人が身近に居て、自分は運が良かった。」と鈴木さんは言いますが、難しいナメコの栽培を自分のものにした苦労は大変なことだったと想像できます。「毎日が試行錯誤の連続で大変ですよ。」と鈴木さんは笑っていましたが、ナメコにかける情熱がひしひしと伝わってきました。



昨今では、異常気象やTPP問題も農業者の間で騒がれておりますが、そんな逆風にも負けないような、素晴らしい企業努力と品質でがんばってもらいたいものです。

最後に、今後の目標を伺うと、「いずれは青森にいる長男が戻ってくるので、それまでには今以上に収益性の高い経営を確立したいですね。」と力強く話してくれました。厳しい季節が今年もやってきますが、寒くなればなるほど、鈴木さんの作ったこだわりのナメコが喜ばれることでしょう。

(執筆 三戸 進委員)

平成23年は第21回農業委員統一選挙の年です!

農業委員会では、毎年農家の皆様から提出いただいた登載申請書を基に「農業委員会委員選挙人名簿」を作成しております。

次の選挙人資格を有する方は、申請書に必要事項を記入のうえ、**1月10日(月)まで**に農業委員会事務局まで提出をお願いします。

■資格要件■

いわき市に住所を有し、平成23年3月31日現在で年齢満20歳以上になる方(平成3年4月1日までに生まれた方)で、次のいずれかにあてはまる方。

- ① 10アール以上の農地につき耕作の業務を営んでいる方。
- ② ①の同居の親族またはその配偶者で、年間おおむね60日以上耕作に従事する方。
- ③ 10アール以上の農地につき耕作の業務を営む農業生産法人の組合員、社員または株主で、年間おおむね60日以上耕作に従事する方。

■提出先■

農業委員会事務局、各支所・市民サービスセンター

(1月8日(土)、1月9日(日)、1月10日(月)は農業委員会事務局のみで受け付けます。)

※申請がない場合には、選挙資格を有していても選挙人名簿に登載されず、選挙の際に投票ができなくなりますので、期日までに申請書を提出くださるようお願いいたします。

